

AirWatch Apple Configurator 統合ガイド

(Ver1.7.2 用)

AirWatch v9.0 対応

2017 年 4 月 24 日
株式会社データコントロール

改訂履歴

ver.	発行日	改訂履歴
1.00	2013年11月14日	初版発行
2.00	2014年3月7日	第二版発行
3.00	2014年10月10日	第三版発行
4.00	2015年1月9日	第四版発行
5.00	2015年7月14日	第五版発行
6.00	2016年2月2日	第六版発行
7.00	2016年10月25日	第七版発行
8.00	2017年4月24日	第八版発行

目次

1	本書について	1
2	Apple Configurator とは?	2
3	ご利用にあたって必要になるもの	3
4	AirWatch コンソールによる準備	4
4.1	ユーザーの確認	4
4.2	登録用 URL 情報の取得	5
5	AppleConfigurator による監視/MDM 加入	8
5.1	環境設定	8
5.2	デバイスの準備	10
5.3	準備完了後（監視状態）のデバイス	15
5.4	補足: アプリケーションモジュールの配布	18
6	AirWatch の加入確認	20
6.1	AirWatch コンソール	20
6.2	デバイスの設定	21

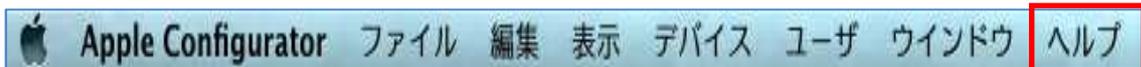
—

1 本書について

AirWatch の機能の一つである **Apple Configurator との統合** についてまとめた利用ガイドとなっております。

本書は、Apple Configurator ヘルプを基に、検証・確認したガイドとなっております。
Apple Configurator の詳細 についてはヘルプを確認いただくか、Apple 社のサポートにお問い合わせください。

- 1) Apple Configurator を起動後、画面最上部メニューの**ヘルプ**をクリック



- 2) **Apple Configurator ヘルプ** をクリック



- 3) ヘルプの表示



2 Apple Configurator とは？

Apple Configurator は、Apple 社が提供する iOS デバイス設定ツールです。

ホスト PC と iOS デバイスを **USB で接続**し、iOS デバイスに各種設定を適用します。

また、監視モードの適用により通常のデバイスより強固な制限やセキュリティの確保が行えます。

※当ツールの詳細や操作方法については、[Apple Configurator ヘルプ](#)をご参照下さい。

動作： デバイスを初期化し、**最新 iOS** とツールの**監視プロファイル**をインストールします。

また、初期設定に **AirWatch** 加入の工程を追加します。(※要設定)

※最新 iOS はアップデートが利用可能なときのみ実行されます。

接続： USB 接続されている複数のデバイスを、以下のどちらかの方法で設定することが可能です。

- **デバイスの設定が終了**するたびに取り外して、**他のデバイスを接続**（1台ずつ接続）
- **電源付きの USB 2.0 高速ハブ**を使い、**一度に 30 台まで**デバイスを接続して一括構成することができます。

3 ご利用にあたって必要になるもの

Apple Configurator と統合するための**必要条件**です。

●Mac に以下のものがインストールされている必要があります。

- ・ Mountain Lion v10.8 または OS X Mavericks v10.9
- ・ iTunes 11.4 以降

●Apple Configurator : App Store から Mac へインストールして下さい。(無料)

カテゴリ : ユーティリティ

バージョン : 1.7.2

●Apple Configurator ご利用の前にデバイスの**バックアップ**を推奨します。

設定 > iCloud > **ストレージとバックアップ** で **iCloud バックアップ**が**オン**であることを確認し、**今すぐバックアップを作成** をクリックします。



重要

AppleConfigurator で監視中のデバイスは**他のコンピュータで実行している iTunes と同期出来ません。**

バックアップが必要な場合は、必ず **iCloud** へ設定して下さい。

4 AirWatch コンソールによる準備

4.1 ユーザーの確認

監視対象のデバイスを使用するユーザーは、**任意の組織グループに登録済**であることが前提になります。

- 1) **アカウント > ユーザー > リスト表示** の選択で、ユーザーリスト一覧を表示する。



- 2) 監視対象のデバイスを**所有するユーザー**項目をクリックする。



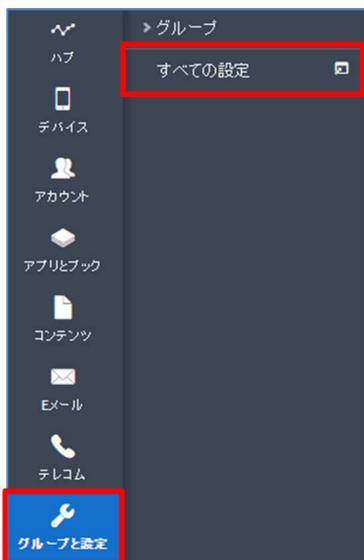
- 3) ユーザーの詳細画面が表示されるので、デバイスの加入状態が○であることを確認する。



このユーザー(上記図)には、現在登録済のデバイスはありません。

4.2 登録用 URL 情報の取得

1) グループと設定 > すべての設定 をクリック



2) デバイスとユーザー > Apple > Apple Configurator を選択し、自動加入の有効化 をチェック



3) 必須項目を設定し、保存し URL をコピーをクリックする。

The screenshot shows a configuration form with the following elements:

- ① **プラットフォーム ***: Apple iOS (selected), Apple macOS, Apple tvOS
- ② **代理セットアップモード ***: なし (selected), シングルユーザーデバイス, マルチユーザーデバイス
- ③ **既定の代理セットアップユーザー ***: Test User (User)
- ④ **サブグループの権限**: 継承のみ (selected), オーバーライドのみ, 継承またはオーバーライド
- ⑤ **保存し URL をコピー** (button)

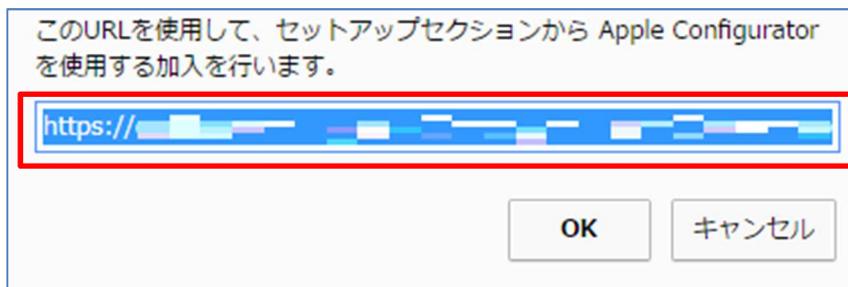
Additional text in the form includes a warning icon and instructions: "登録済みデバイスの一覧を確認または新しいデバイスの登録には、次に示すリンクに移動してください: [加入状態ページ](#) 既存の代理セットアップユーザーのリストを閲覧したり、新しい代理セットアップユーザーを作成したりするには、次に示すリンク [リスト表示画面](#)"

設定保存後

The screenshot shows the configuration page after saving. The **MDMサーバ URL** field is highlighted with a red box and contains a generated URL. A **Copy** button is next to it. Below the URL field, there is a warning icon and the same instructional text as in the previous screenshot. At the bottom, there are buttons for "保存し URL をコピー", "エクスポート", and "Clear".

項目 (* 必須)	設定する値
① プラットフォーム	Apple iOS を選択します。
② 代理セットアップモード	None を選択します。
③ 規定の代理セットアップユーザー	[4.1 ユーザーの確認]で確認したユーザーを設定します。
④ サブグループの許可*	継承またはオーバーライドを選択します。
⑤ 保存し URL をコピー	設定を確定すると、自動的に URL が生成されます。
⑥ MDM サーバ URL	Apple Configurator の監視設定時に参照する AirWatch MDM の登録用 URL が自動生成されます。設定保存後に表示されます。

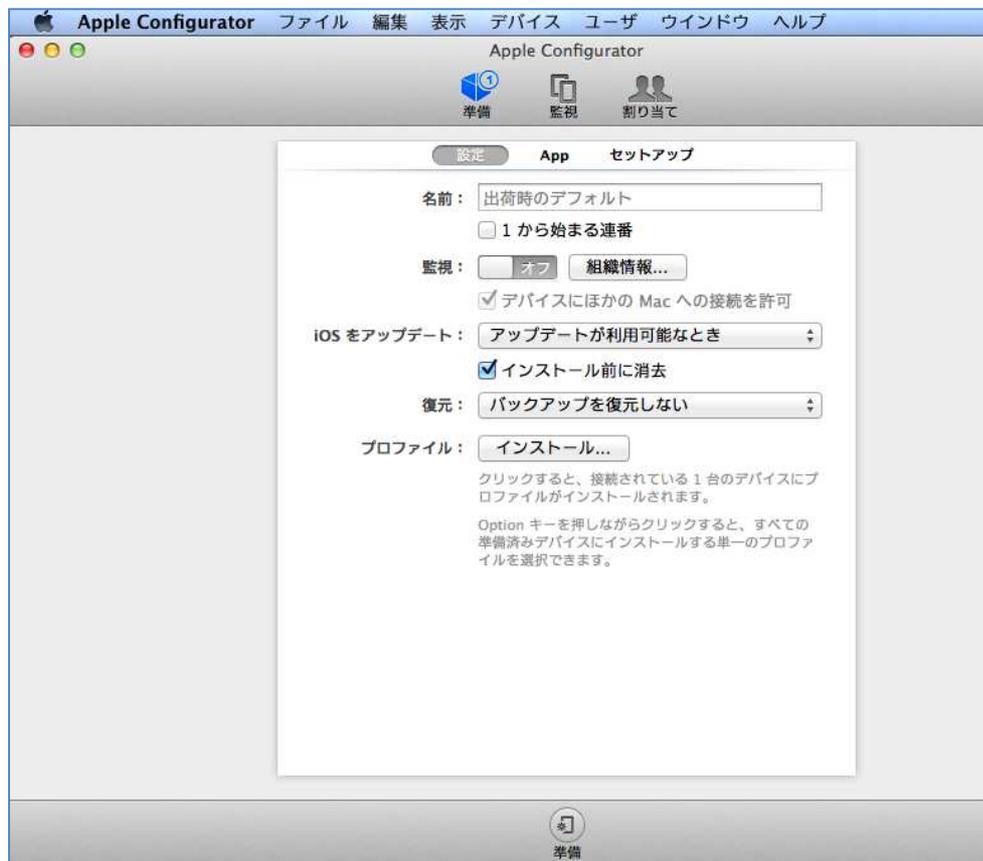
設定保存後、自動生成された登録用 URL のコピーフォームが表示されますので、テキスト等にコピーしておきます。



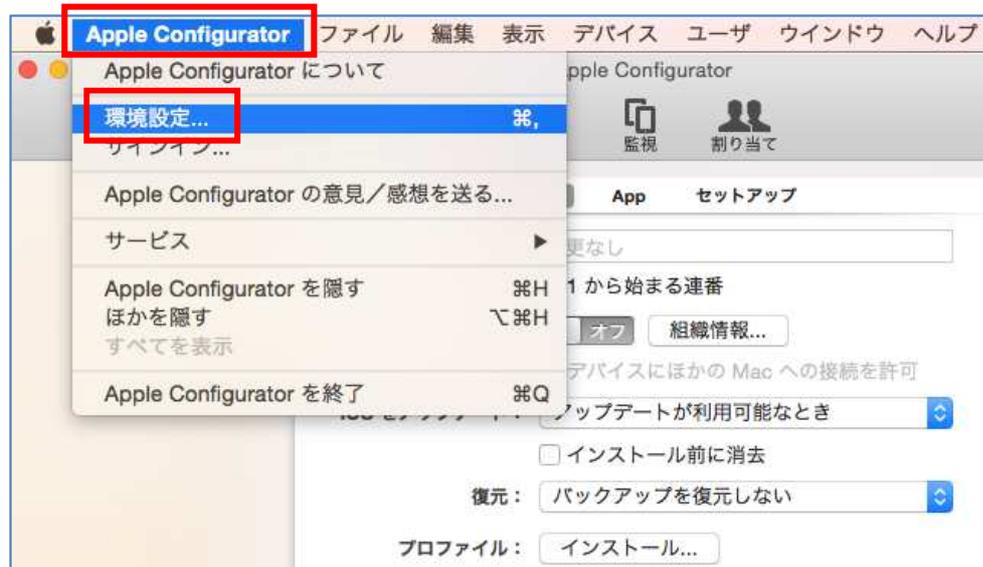
5 AppleConfigurator による監視/MDM 加入

5.1 環境設定

- 1) Mac にデバイスを USB で接続して、Apple Configurator を起動します



- 2) 環境設定を開きます。



- 3) 環境設定が表示されます。



項目(*必須)		設定する値
①	監視対象デバイスの接続時	自動的に更新 をチェックすると、デバイスを接続するたび、指定した構成が自動的に再適用されます。
②	監視対象デバイスの更新時	Configurator がインストールしなかった App とプロファイルを削除 をチェックすると、ユーザーがデバイスにインストールしたすべての App とプロファイルが削除されます。(前回 Apple Configurator を使って設定した時と同じ状態へデバイスが戻ります。) します。
③	完了時のサウンド	すべてのデバイスの構成を完了したときの通知音を選択します。
④	すべてのダイアログの警告をリセット	クリックすると、Apple Configurator のすべての警告ダイアログをオンにします。

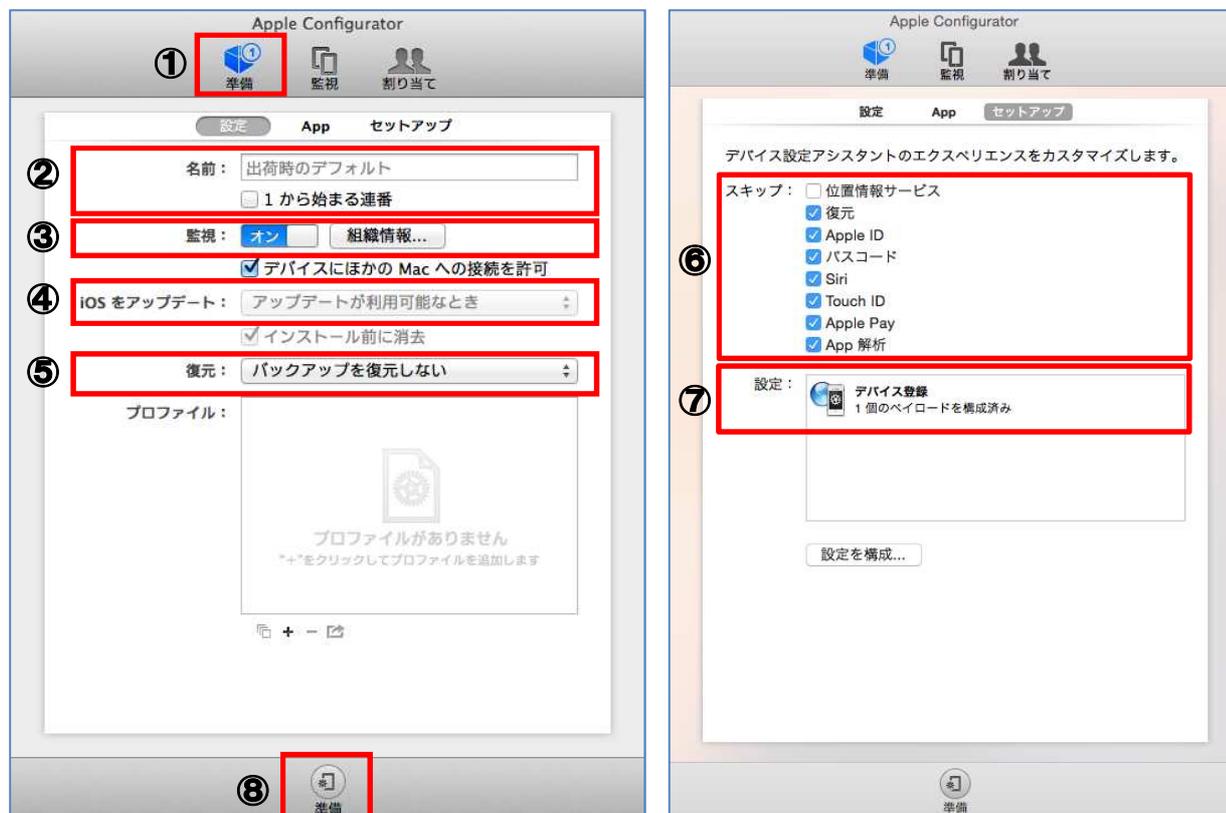
ロック画面タブをクリックすると、下記の設定画面が表示されます。



5.2 デバイスの準備

Apple Configurator の**準備**をクリックします。

「設定」タブおよび「セットアップ」タブにて、必要な項目に設定値を入力 or 指定します。



項目(* 必須)	設定する値
① 準備	アイコンの右上の数字は、 現在接続中のデバイス数 です。
② 名前	デバイスの名前を入力します。(※名称任意) 連番を追加する時は、 1 から始まる連番 をチェックします
③ 監視	オン に設定します。(Supervised mode になります。) また、監視時にインストールされる Supervision プロファイルは、 組織情報 項目で設定した名前が適用されます。
④ iOS をアップデート	監視 が オン に設定されている場合は自動的に アップデートが利用可能なとき に設定されます。(※変更できません)
⑤ 復元	バックアップを復元しない を選択します。
⑥ スキップ	デバイスの初期設定時に、 チェックした項目 をスキップします。 (※設定任意)
⑦ 設定	管理コンソールからコピーした MDM 登録用 URL をセットします。 (※詳細手順は P. 13 を参照)
⑧ 準備	各項目の設定後、 クリックして準備 を実行します。

「準備」の段階では、プロフィール、アプリケーションのインストールは行いません。

プロフィール、アプリケーションのインストールは「監視」段階で行います。

既にプロフィール等を読み込んでいる場合は、**準備実行の前に必ず該当項目のチェックが外れているか確認してください。**

<プロフィール>

<アプリケーション>



- 上記準備の際、監視をオンへ設定時、すべてのコンテンツと設定がワイプされます。
- デバイスの **iPhone を探す** をオフにしてください。
- デバイスが監視されると、そのデバイスは Apple Configurator または iTunes を実行している他の PC と同期することはできません。
他の PC の「iTunes」とデバイスを同期してデバイスの復元は出来なくなります。
- 準備完了後、デバイスは Apple Configurator による監視状態となります。

<MDM 登録用 URL の設定手順>

①[セットアップ]タブを開き、「設定を構成」をクリックします。



②「構成」をクリックします。



③ 「MDM サーバ URL」 に管理コンソールからコピーした登録用 URL を貼り付け、「保存」します。

デバイス登録
1 個のペイロードを構成済み

デバイス登録

MDM サーバ URL
デバイスを登録する MDM サーバの URL

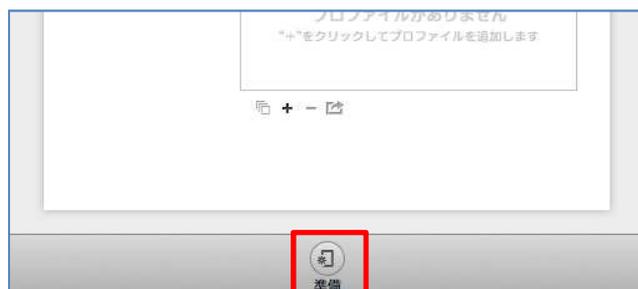
https://

アンカー証明書
サーバへの接続に必要な証明書

+ -

キャンセル 保存

④ 当該設定を組み込んだ状態で画面の下にある「準備」をクリックします。

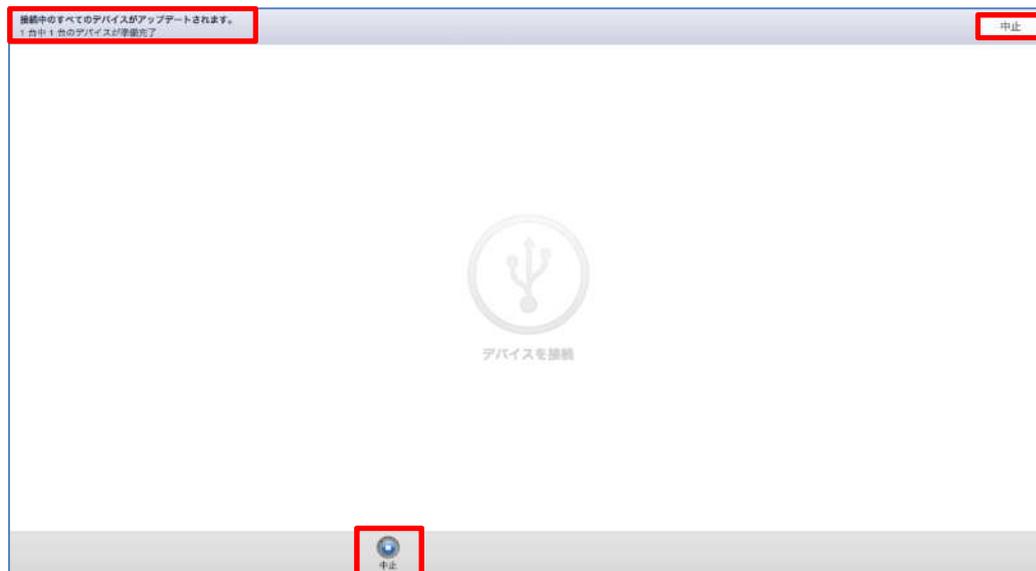


デバイスの初期化が開始されます。



⑤初期化を確認し、画面上部に「デバイスの準備が完了」と表示されたら「中止」をおします。

※中止を押さずに設定を進めると、正しく反映されない場合があります。

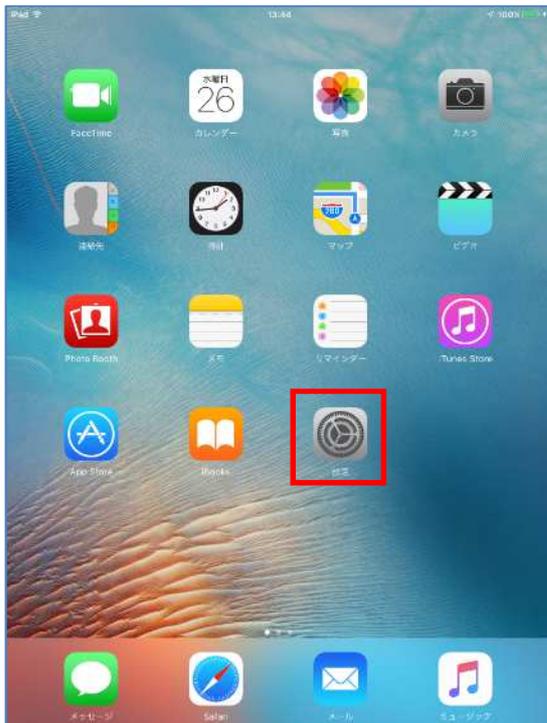


初期設定時に、MDM 構成(加入)適用の工程が追加されます。



5.3 準備完了後（監視状態）のデバイス

- 1) Apple Configurator で準備が済んだデバイスで、設定をタップします。

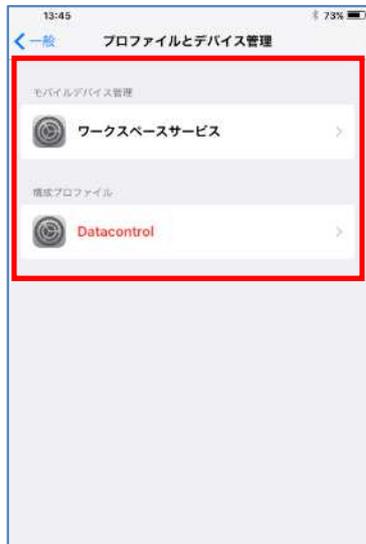


- 2) 一般 > プロファイルとモバイルデバイス管理をタップします。



- 3) Apple Configurator の **Supervision プロファイル** および AirWatch の **MDM プロファイル** がインストールされた状態となっています。

〈一覧画面〉



〈MDM プロファイル〉



〈Supervision プロファイル〉



また、**一般 > 情報**にて、デバイス名の下に Apple Configurator によって監督されている旨のメッセージが表示されます。

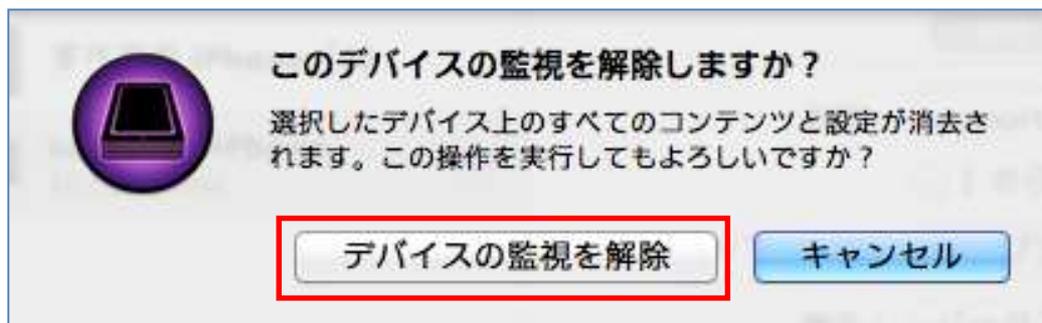


Apple Configurator による監視を解除したい時は、以下の処理を行います。

① Apple Configurator で監視 > デバイス > 監視を解除 を実行します。



② デバイスの監視を解除 をクリックします。



5.4 補足：アプリケーションモジュールの配布

Apple Configurator では、アプリケーションモジュールの配信が可能です。

※予め、監視元の Mac にて、配布するアプリをダウンロードしておく必要があります。

※Apple Configurator で配付されたアプリは、AirWatch の管理アプリとなりません。

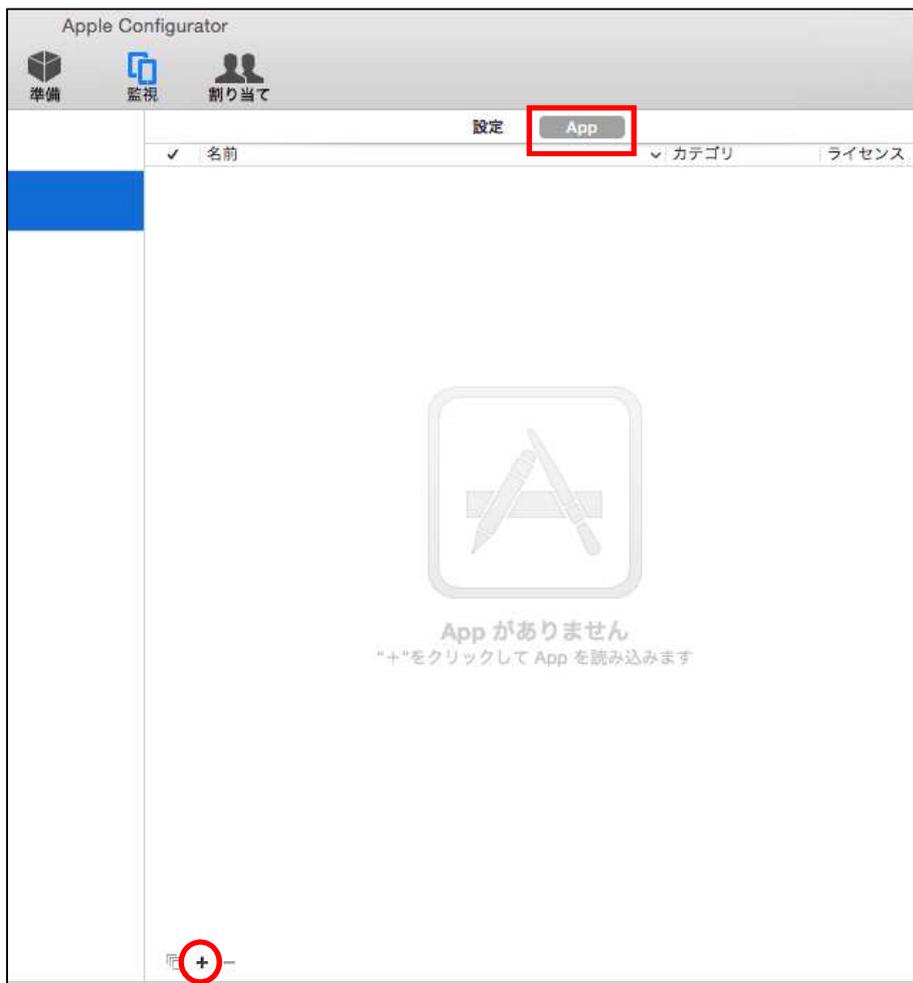
※AirWatch にて同アプリを配信する場合は、当該設定は必要ありません。

下記例では、AirWatch MDM エージェントを配布しています。

- 1) Apple Configurator の **監視** をクリックします。



- 2) デバイス画面右部にて **App** タブを表示し、画面下部の **+** をクリックします。



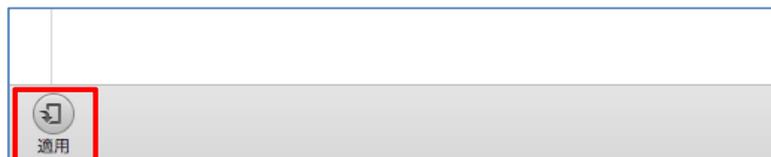
3) iOS App で検索して、Agent XXX.ipa を選択します。



4) 追加されたアプリのチェックボックス を選択します。



5) 適用をクリックして、監視設定を適用します。



6 AirWatch の加入確認

6.1 AirWatch コンソール

- 1) デバイス > リスト表示 でデバイス一覧を表示します。



- 2) Apple Configurator で登録したデバイスをクリックします。



- 3) 詳細画面が表示されます。



Apple Configurator で監視しているデバイスは監視対象と表示されます。

6.2 デバイスの設定

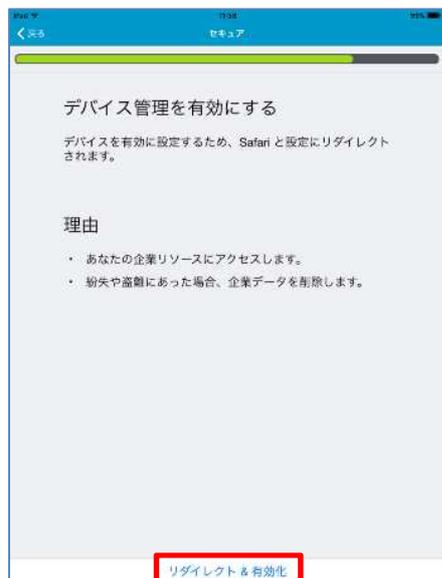
- 1) デバイスの画面で、AirWatch MDM Agent をタップします。



- 2) 登録方法を選択し、必要項目を入力して「次へ」をタップします。



- 3) 画面下部の「リダイレクト & 有効化」をタップします。



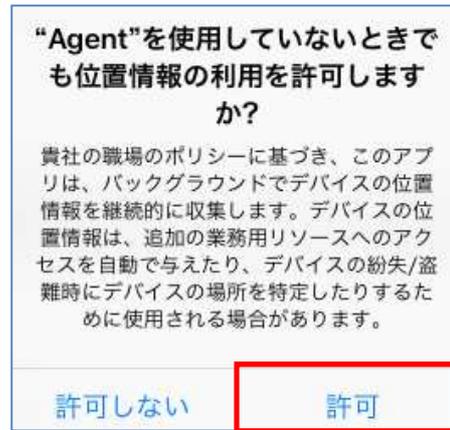
4) 画面に従って構成情報をインストールします。



5) インストール後、認証処理が成功しましたら、完了をタップします。



6) 確認画面が表示される場合は、OK または許可をタップします。



7) 設定終了です。



※AirWatch による配信(自動配信、App Catalog)にてエージェントアプリを導入している場合は、初回起動時に構成処理(2~6の工程)が自動的に実施され、マイデバイス画面が表示されます。

AirWatch Apple Configurator 統合ガイド

AirWatch v9.0 対応

ver. 8.00 2017 年 4 月 24 日